**2016 春季生活闘争
第5回戦術委員会 確認事項**

連合は本日、2016春季生活闘争の第5回戦術委員会を開催し、現時点の交渉状況を把握するとともに、ヤマ場における回答引き出しに向けて、粘り強く交渉を追い上げていくことを確認した。

- 1 2月の要求提出以降、中核組合が重ねてきた交渉は最終局面に差し掛かっている。経営側は、我々の要求に込めた思いは理解しつつも、コスト論に頑なに固執し、交渉は非常に厳しい状況にある。
- 2 我々は、ヤマ場に向けて以下の点を更に強調していく。
 - ① 「デフレからの脱却」と「日本経済の好循環実現」に向けて、労使は社会的責任と役割を果たすことが求められている。そのためには、月例賃金の引き上げこそが不可欠である。
 - ② 企業の存続と成長のためには「人への投資」が不可欠である。
- 3 すべての組合は、2016 春季生活闘争の主旨である「底上げ春闘」を実現させるためにも、「持続性」「月例賃金」「広がり」「底上げ」に繋がる回答を引き出さなければならない。
- 4 構成組織は、諸要求に対する回答内容を含め、速やかに連合に報告する。
連合は、3月16日のヤマ場における回答内容の把握に努め、その結果を公表すると同時に、以降の対応について改めて中央闘争委員長名で発信する。

以 上

○回答集計・プレス発表の日程

2016年 3月 16日	最初のヤマ場 回答速報発信	(中核組合中心)
18日	第1回回答集計結果発表	(先行組合中心)
25日	第2回回答集計結果発表	(中堅組合中心)
4月 1日	第3回回答集計結果発表	(3月末状況)

※ 機関会議・諸行動の日程は、第4回中央闘争委員会確認事項（3月3日）参照